



神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク

会報第11号

KANAGAWA Rescue Support Bike Network News

2001年4月1日号, No.11

第11号の目次

- 1、 自分は貢献できるのだろうか ~ 2001年度代表挨拶 ~
- 2、 神奈川RB2000年度を振り返って ~ 2000年度代表挨拶 ~
- 3、 イベントレポート
 - 大和災害体験フェア報告 (2001/1/20-21)
 - 神奈川RB第3回総会報告 (2001/1/21)
 - 走ろう会ツーリング (2001/2/25)
- 4、 三宅島からの避難者支援活動レポート
 - RBサンタ作戦報告 (2000/12/20-24)
 - どんふいん「ありがとうの会」報告 (2001/3/20)
- 5、 瀬戸内芸予地震について / お問い合わせは / 広告

自分は貢献できるのだろうか



2001年度代表: 井上哲也

神奈川RBが発足し、はや2年が経過しました。活動当初は、我々の主な目的であるオートバイの利点を生かした地震直後の混乱の中での救援支援活動を考えた各種訓練の実施を活動の大きな柱にしていました。その結果、支援活動について素人集団

であった我々は必要な技術、震災のメカニズム、震災時の行政・市民・ボランティア団体の動きの流れなど多くの事を学びました。

しかし、特に昨年の後半はそれとは違う場で大きなことを多く学んだ様に思えます。有珠山噴火による降灰の除去作業への参加、三宅島噴火により本州へ避難された被災者への支援などです。これまでの我々の主眼は地震発生直後でした。しかしこれらの自然災害についての活動は概ね震災後1ヶ月が経過したものでした。これらはその様な時期にも我々の活動に対するニーズが多くあることを理解させました。

また昨年は、RBに参加して時間が経過したメンバーにとっては、RBの活動について多くを考えさせられたように思います。目的である震災直後の活動は、勿論その機会が無いことが最上に喜ばしいこととはわかりつつも、いつになるのかはわからない。時間の経過による自分の仕事・家庭の事情の変化により、自分自身が本当に動けるかはわからない。通常の神奈川RBの活動もなかなか参加できる機会がない...等々。しかし、既に書いた昨年の活動は我々を大きく勇気付けてくれる様に思えます。発想の転換です。震災直後でなくても活動、つまり貢献はできます。自分の自由な時間が限られようと、例え現地に出向くことができなくても、なんらかの貢献はできる可能性は多くあります。気を長くして長く続けましょう。また、どんなメンバーも神奈川RBに参加し続けることを歓迎します。

神奈川RB2000年度を振り返って

2000年度代表: 山田泰



「震災時、バイクで役に立ちたい」 1999年1月10日設立いたしました神奈川RBは皆様のおかげで無事2年目を終了いたしました。昨年度は、震災時活動研究分科会、バイク分科会、救急救命分科会、情報通信分科会の4つの分科会で活動しました(これらの活動の詳細についてはホームページをご参照いただきたいと思います)

昨年は特筆すべき活動がありました。私たちのような団体は、すべての活動が、想定訓練・研究となってしまう(発災を望むことは出来ませんので)のはやむをえないことです。これは活動目的が見えにくい活動参加者が減少する要因にもなっています。しかし昨年は一昨年那須洪水に続き、8月の有珠山除灰への有志参加、また今も継続している三宅島避難者支援活動、最初の一人の思いが多くのメンバーを動かし新たな活動を開始したことです。これらの経験は災害後の対応ということでそのまま今後の活動に生きるものです。

今後も互いに思った事を実行し、いろいろな活動の中で自分のスタイルにあったものがあれば応援することで刺激的な神奈川RBにしようではありませんか。

また、昨年度活動にご協力いただきました、オフトレ講師神奈川県警・田嶋様(神奈川RBアドバイザー) また救急救命訓練の場をいつも提供していただきました日赤救護団・田島様に御礼を申し上げます。最後に昨年、私は4月はじめのオフトレ時の事故でその後約5ヶ月間神奈川RBの活動に様々な停滞を引き起こしてしまいました。すぐに代行者をおくべきであったと反省の多い1年でした。

イベントレポート

1/20-21 大和災害体験フェア報告

手塚則生



1月20日、この宿泊訓練を狙ったかの様な「20日夕刻から雪、21日未明まで積雪注意」の天気予報。21日朝参加者への朝食搬送を神戸屋ペーカリー工場からのする事が神奈川RBに託されているのを考えてバイク

での参加を諦めて車で参加しました。

会場に入り、まず自分が被災者側の役で災害体験をしました。

(僕は、自宅が全焼、足を骨折した子供、両親・姉とはくれた役)
“重症のケガを負った子供”と言う事で、大袈裟にワンワン泣き叫び続けていると、幾人ものボラ役の方から声を掛けられて(重複のムダも)ほどなく“病院”に車椅子で搬送され、三角巾と段ボールを利用した副木による応急手当てを受けられました。その後、“姉”と再会。(実は太田さん(笑))両親は死亡したとの想定。(T.T)

自分は、素早いケアを受けられたのですが、

- ・耳が不自由な高齢者
- ・日本語が解らない外国人
- ・無傷で避難できた人達

などは、“避難所”での騒ぎ様がないので、どうやらボラ側からの支援などのケアが即座に受けられなかった様子。被災者内でもリーダー設定などの工夫が遅れた為に、ボラからの支援を受ける体制に足りない部分が多かった様子でした。

次にいよいよ自分達がボラ側に回りました。

ボラ内での組織作り&役割分担の明確化を心掛けようと提案しましたが、班分けや役割分担が終わらない内に、役が振られた人はどんどん“避難所”に散って行き、戻った時にはそれぞれが援助要請などの情報を伝える使命感のみに囚われていたので最後まで“交通整理”が出来ないままで、重複した情報や支援物資の要求に最後までボラ本部は振り回されました。体育館中に響き渡るガヤガヤで、FM やまとから発せられる情報はボラ側には全く耳に入りませんでしたので、仮想の時間経過などは全く無関係に、援助の要請に対するの援助物資メモを乱発しまくるだけで終わりました。

被災者も、避難所の統合などで刻々と移動するので大変。

本部内でも、僕はホワイトボードに情報を書き出して整理しようとしていたのですが、傍らのデスクで各ボラからの報告を書きとめる役割りをしてくれたママさんとの情報流通すら絶たれた上、同じホワイトボード上にも、ポストイットで情報を貼り付けるおばさんとの重複、すれ違いで、ボード上は大混乱。「情報の入り口の統一」が終始なされませんでした。これにより支援が手薄な部分と重複した部分がかかり生じたと思われます。これは大問題でしょう。とにかく終始大混乱の中で終了したシミュレーションでしたが、多くの問題点を痛感したので、これをどこかに生かす事ができないかな？

夕食は各自が用意して来た夕食を摂りました。

食事が終わり、救急法講習会や PHS を利用したネット通信実験へ、ネット実験では、坂本さんが大活躍。

病院から来て頂いた救急法講師の先生方の丁寧なご指導にも、参加者の皆さんも興味津々に練習されていました。うつぶせの体位からの処置は、実践的だったと思います。

さすがに寒さが尋常じゃないので秘密兵器のジェットヒーターが登場、学校って、意外な物がありますね。

消灯、就寝という事でジェットヒーターも消されていよいよ寒さを覚悟、なかなか眠れない夜を過ごしました。

21日5時半頃神戸屋さんでのパン引取りのシーンを撮影することに、6時頃ようやく林間小学校を出発。6時30分までに着くのが神戸屋さんとの約束。路肩には乗り捨てられた車。追い越しの出来ない道で、ゆっくり慎重に走るトラックやバスに道を塞がれてまたまた焦る。さらにスキーに行ってもたまにしか経験できないようなアイスバーンの連続。

この寒さは異常でした。

6時半、時間ぴったり神戸屋ベーカリーの工場に到着。守衛室で担当の方も笑顔で待って居てくれました。

7時頃、林間小学校に到着すると皆が暖かく迎えてくれました。仕事を終えて安心。メロンパン・クリームパン・あんぱんを、用意して頂いたお湯で作るインスタント味噌汁やワカメスープと共に頂きました。味噌汁はメロンパンと合うという珍発見！他にも炊き出し訓練として、小さなビニール袋に無洗米と水を入れて大鍋に煮えたお湯の中に投じて炊く実演があったらしく、そのご飯も用意されていました。

朝食を摂りながら、主に子供達の参加者から宿泊の感想発表。口々に「寒かった・眠れなかった」の連発でした。

この2日目に予定されていた消防による消火器訓練・煙体験・起振車体験などが雪の為に中止。代わりに、簡易トイレ用テントの組み立て、ブルーシートとロープでの簡易テント作り方教室、赤十字ボラの方による骨折時の応急手当て教室などが行なわれました。

11時閉会。とっても有意義で楽しい訓練でした。加藤さん始め、スタッフの皆様の御活躍に大きな感謝をします。お疲れ様でした。

1/21 第3回神奈川R B総会

山本泰彦



1月21日、大和災害体験フェアの後、大和市生涯学習センターにて第3回神奈川R B総会が開催されました。この日は雪の中ではありませんでしたが、用意されていた総会議事について全案件承認され、新年度、そして

21世紀の神奈川R Bがスタートしました。



また山梨でお好み焼き屋「おにがわら」で新しい生活を始めながら神奈川R Bの活動に協力して頂いている中島さんより寄付を頂きました。神奈川R B名誉会員でもあり、八ヶ岳のふもとからあたたかく神奈川R Bの活

動を見守って頂いています。また中島さんは地元消防と積極的に交流し、防災について今後も勉強になることをいろいろ伝えていただけそうです。今後更にお祈りします。

総会で承認されました新体制は以下の通りです。

2001年度新役員、リーダー紹介(敬称略)

代表: 井上哲也

副代表: 山田泰、神林邦彦、太田隆行、山本泰彦

事務局長: 矢代幸雄

会計監査: 梶工ミ子、大倉央

バイク分科会リーダー: 渡辺和也

救急救命分科会リーダー: 河内善徳

情報通信分科会リーダー: 坂本篤哉

東部地区リーダー: 坂本篤哉、西部地区リーダー: 永山充

南部地区リーダー: 手塚則生、北部地区リーダー: 渡辺和也

2/25 走ろう会ツーリング

太田隆行

今日は新世紀初めての走ろう会でした。朝7:00、身支度を整え、庭に出ると昨日までの雨は上がっているがどんよりと暗い空。また、ここ数日の暖かさとは違って変わって外気の冷たさを感じました。念の為、空気圧をチェック。朝の冷気の中快調に走る。今日は東名高速も順調。いつものルートで西湘バイパスへ。

一番乗りかと思ったら居ました。神林さんが、BMW1150GS。トップ



ケースまで黄色に塗装されたちょっと目立つ「いでたち」でケールに待っていました。今日は何人来るんだろうなどと二人で話しながら、ふと見ると土浦ナンバーのカワサキが停まっている。これは初参加予定の亀

井さん。そこに渡辺さんより電話があり「バイク故障のため動けない、また連絡する」…波乱の幕開け。

3人で待つこと1時間あまり。渡辺BBLがやっと来て走ろう会の始まりとなりました。スタートが遅れたのと少々寒いので予定を変更し西伊豆を目指すこととし9:30西湘PAを出発しました。箱根新道に入ると小雨が降り出しました。正に氷雨。…雨を呼ぶ男。渡辺さん恐るべし。

それでも天気予報は晴れるはず。太陽を期待しながら十国峠、熱海峠を目指しました。しかしながら、箱根新道を上っていくうちに雨は雪に変わってきました。霧も出てきました。神林さんはものともせずに進んで行くが、運転未熟の自分には「怖い怖い」

峠にかかるころには雪があられに。。ヘルメットにあたる音は「ポツポツ」から「バンバン」に替わってきました。視界は更に悪くなり神林さんの後姿もぼんやりとしか見えなし。

…ああ、霧と雪を呼ぶ男、渡辺さん、恐るべし。

熱海峠から、ともかく太陽を求め函南へ。雪は雨に変わり、函南を過ぎると空も明るくなってきました。函南から葦山を経て修善寺手前でそろそろ食事を。しかし、ここで食事をしたら昨年の走ろう会と同じルートになってしまうことに気づき、ともかく戸田を目指して走ることに。

修善寺から達磨山をとおり戸田を目指すことにした4台は見晴らしの良いことで知られる達磨山高原、戸田峠を目指すのが、上りにかかるるとまたまた雪が。。「天気予報はなんだったんだ!!!」

戸田峠から西伊豆スカイラインを通り土肥峠へ。結局眺望豊かなはずのこの道のりでは、全く景色は拝めずじまい。

かじかむ手と凍える身体でともかく西伊豆の海岸を目指す4台でした。

それでも土肥に下りるとようやく晴れてきました。

土肥から戸田までの海岸線は快適なワインディング。

神林氏の後ろを必死で追いかける私の後ろでは、物足りなそうな亀井氏のカワサキ。…「亀井さん、遅くてゴメンネ」

ようやくたどり着いた戸田で、遅めの昼食。お刺身定食。最高でした。

晴れても一向に気温が上がらない。

「とにかく、今日は温泉だ。」ということで戸田から海岸線を走り、大瀬崎、三津を通り、伊豆長岡温泉へ。

長岡温泉「光林」につかり冷え切った身体を温めました。

4つの露天風呂とサウナも備えた光琳は快適。休憩所が狭かったけれ

ど。温泉を出るともう4:30。

「今度は泊りで来たいね。」と温泉のパワーですっかり元気になった4人は思い思いに高速を走り帰路につきました。

途中渋滞はあったものの比較的順調に走り帰宅は7:30。

とても寒かったが、楽しいツーリングでした。

風邪で体調の悪い中コーディネートしてくれた渡辺さん。本当にお疲れ様でした。

【その他のイベント】

3/17: 神奈川RB「新世紀会」開催

3/20: ボランティアのための救護報研修会拡大版

2/4、3/4: ミーティング開催

三宅島からの避難者支援活動レポート

12/20-24 RBサンタ作戦報告

山本泰彦



12月10日に行われた八王子市南大沢の物資会が終わった後、クリスマスにちなんで未就学児向けのクリスマスプレゼントを配送してほしい。

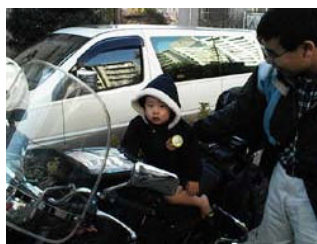
そんな依頼が神奈川RBにきました。

「ただクリスマスプレゼントを配るだけなら災害郵便でもできるけどそれだと一方通行になってしまう。もし可能ならプレゼントを渡すときに伝言や困っていることなどを聞いてきて。」配送予定地域は東京都内をはじめ、埼玉、千葉、神奈川の各県にまたがり、件数も60件(80人)程度になりました。そこで可能かどうかは置いておいて関東ブロックの各RBに配送依頼を行なったのでした。結果として、神奈川、千葉、埼玉、東京の各RBのメンバーがそれぞれのできる範囲でやりくりして搬送依頼地域をほぼカバーすることができました。

依頼から実施まで10日あまり。初めての連携が思った以上にうまくいったと言えるものでした。以下、サンタ作戦の様相を紹介します。



山本宅にて、手塚サンタさんが配送先までのルート確認をしています。うーん、2丁目だからどこだ? ああ、この地図がわからないよおと頭を抱えている図です。なお今回のプレゼントは、秋川高校の三宅島児童生徒支援センターに寄せられたプレゼントを三宅島自主保育サークル「どるふいん」により未就学児のこどもたちに贈られたものでした。



矢代サンタさんのバイクに乗って写真撮影(掲載許可済よん)キミは将来大物になるぞ。

「バイクがたくさんある!」っではしゃいでいました。

3/20 どるふいん「ありがとうの会」報告

山本泰彦

3月20日(祝)大妻女子大学にて、三宅島自主保育サークル「どるふいん」の卒業式とも言える「ありがとうの会」が開催されました。



全島避難後、未就学児を持つお母さん方のふれあいの場所として、そして託児の場として南大沢市民センターにて育児学級を開催してから、会場をせいがの森保育園と大妻女子大に変え、名称も三宅島自主保育サークル「どるふいん」と命名し、毎週定期的に活動をしていました。

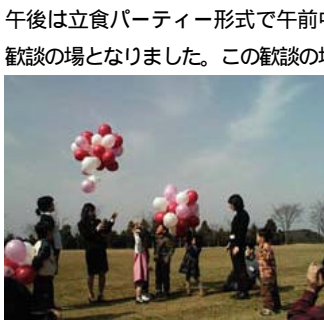
春を迎え、地元の保育園、幼稚園に通う子ども達が増えることから、大妻女子大学での活動最終回に合わせ、卒園式にあたる「ありがとうの会」が開催に至ったとの事です。

この会のアイデアはお母さん方が中心になり、サポーターの方々が一緒になって準備をしたものなのだそうです。そして、このありがとうの会は「どるふいん」に関わってきた全ての人が集い、子ども達への手作りの卒園式をプレゼントすることと、子ども達、お母さん方、サポーターみんなが



ありがとうの気持ちを表す場となりました。午前の終了証書授与式では修了証書を受け取る子ども一人一人からは大きな声で「ありがとう」の声が響きました。

午後は立食パーティー形式で午前中の「卒園式」とは雰囲気が変わり歓談の場となりました。この歓談の場でR Bからどるふいんのおかあさん、子ども達へのプレゼントとしてメッセージカードとチューリップの花を一人ずつにプレゼントしました。会場となった大妻女子大のお姉さん達からも子ども達に花のプレゼントがあり、手作りの卒園式を盛り上げてい



ました。

この日は天気が良く春の温かい日差しの中、みんなで外に出ました。おかあさんたちが話し、子ども達が遊びまわるといった楽しい空間がそこにはありました。

子ども達はおにいさんやお姉さんを捕まえてグランドをかけまわり、思うぞんぶん楽しんでたように思いました。

その校舎の一角に「どるふいんの木」と名付けられたもみの木があります。これはどるふいんのクリスマス会で使ったもみの木を植樹したもので、まだ子どもの背丈くらいしかありませんが「どるふいん」の子ども達と一緒に大きく育ててほしいという気持ちで植えられたものだそうです。

昼過ぎに始まった歓談の時間もあっという間に終わりました。

どるふいんの活動はひとまず終了となります。しかしこのどるふいんを通じて知り合った方々のつながりは今後も残り、続くものだと感じました。

瀬戸内芸予地震について

編集長より

3月24日(土)に瀬戸内を中心に広範囲で大きな地震がありました。マグニチュード6.4、最大震度6弱。現地広島R Bをはじめ、岡山、愛媛、米子、大阪、奈良、島根の各R Bが現地入りし、今でも現地ボランティアセンターにてニーズ調査や復旧作業に従事しています。神奈川R B内では発生後1時間のうちに役員内を中心に電話で第一報を伝えることに努め、その後の情報収集にあたりました。今後もインターネット上を中心にホームページやメールにて最新情報を発信する予定です。

さて、関東に目を向けてみると三宅島噴火災害による全島避難から半年以上経過し、被災した人々の苦悩、問題は個人個人それぞれに多様化してきています。また有珠山の噴火から1年。まだまだ仮設住宅での生活を続けている人もいます。もちろん阪神・淡路大震災も復興の影で今だに苦勞をしている方々はたくさんいます。これらの災害に対して自分たちのできることはいろいろあると思いますが、これらの災害を見て学ぶことも多いと思います。いざというときの備えをまずは身の回りから再確認してみたいかがでしょうか？

お問い合わせは

神奈川R B事務局

代表：井上哲也、事務局長：矢代幸雄

郵送先：〒221 0835 神奈川県横浜市神奈川区鶴屋町2 24 2

かながわ県民活動サポートセンターレターケース No.81

Fax: 045-312-1862 (取次ぎ：レターケース No.81 宛て)

URL: <http://cools.com/kanagawarb>

バイクによる災害時救援活動支援ボランティア

神奈川・レスキューサポート・バイクネットワーク会報(年4回発行)

発行者：神奈川R B会報担当 山本泰彦

神奈川R B会報発行にあたりまして、お好み焼き「おにがわら」様のご支援を頂いております。みんなでいきましょう！



関西風・広島風 お好み焼き おにがわら

3月15日より一ヶ月の冬期休業を終えて再開します。

新メニューのご案内

5月より関西風お好み焼きに「チジミ」を加えます

～ニラ・アサリ・イカなど具タップリ～

「ねぎ焼き」「カキ入り広島風お好み焼き」は4月末で終了します

おにがわら 風味オリジナル創作デザート「手作りシャーベット」

世界のフアットグルメ 「日本：山芋・餅入り醤油味」がボリュームUP

店主：中島信義 山梨県北巨摩郡大泉村 Tel:0551-38-4030

JR小海線甲斐大泉駅北約1.5km・ダイヤモンド八ヶ岳ホテル前

夏季(7・8月) 11:30 ~14:30、17:30 ~20:30

(火・水定休、祝日は営業)

上記以外の期間 11:30 ~14:30、17:00 ~20:00 (火・水定休)